

令和5年度第2回半田市図書館協議会議事録

開催日時	令和6年2月22日(木)	14時00分～15時30分
開催場所	半田市立図書館 第1会議室	
会議次第	1. 開会 2. 挨拶 3. 議題 【報告事項】 (1) 令和5年度図書館利用状況等について (2) 令和6年度予算及び事業予定について (3) 第2次半田市子ども読書活動推進計画について 4. その他	
出席委員 (欠席委員)	出席委員 (会長) 間瀬進 (副会長) 原田眞偉子 (委員) 大橋雅美、大橋美哉、尾崎直利、北中美郷、戸田裕美、仲澤秀人、新美陽美、松岡登久子、 <div style="text-align: right;">※敬称略</div>	
教育部 (欠席)	(教育部長 森田 知幸)	
事務局	図書館長 齋藤政樹、副主幹 田村元成、主査 竹内由香、主事 永田知丈、太田絢香	
次 第	議事概要	
1. 開会		
2. 挨拶		
5. 議題 【報告】(1) 令和5年度図書館利用状況等について	(事務局) ・令和5年度図書館利用状況等について事務局から説明。質問は特になし。	
【報告】(2) 令和6年度予算及び事業予定について	(事務局) ・令和6年度予算及び事業予定について事務局から報告。 (会長) ・只今の事務局の説明について、ご意見等ないか。 (委員) ・来年度の図書館事業予定に掲載されているボランティア団体「えほんポスト」の	

ブックトークだが、活動の維持が困難になったため、来年度は活動中止になってしまう可能性がある。

(事務局)

・担当からもその話は伺っている。担当者と貴会とで今後の調整を進めていただきたい。今回は予定案なので掲載した。

(会長)

・できれば、活動を継続していただきたいと思う。

(会長)

・きりんの会の現在の会員数と、担当する男性の人数とその年齢構成を教えてください。

(委員)

・会員数46名のうち、3名が男性で、全員60歳以上である。

(会長)

・読み聞かせ会の対象が子どもから大人までになっているのは、親子で来てもらいたいためか。

(委員)

・父親にも家で読み聞かせをしてほしいという思いからである。また、読み聞かせに必ず紙芝居を入れているのは、以前からこの活動をされていた方の思いを伝えていくためである。

(会長)

・母親だけでなく父親からもそういう話を聞かせてもらうことは、子どもにとっていいことと思う。

(委員)

・前回の協議会のときに、職場体験の申し込みが少ないという話があった。今年度もやはり少なかったのか。来年度の事業予定にも掲載されているが、図書館側から申し込みについて、何らかの働きかけをしたり内容を変更する等の、アプローチの検討はしているか。

(事務局)

・申し込みの実績は、令和4年度とほぼ同じ状況になる見込みである。学校側の方針で、キャリア教育の考え方・やり方が、職場体験的なものから働いている人を学校に招いて教えてもらう、ディスカッションをするといった形に変わってきている。その中で、図書館側の受入体制の一つとして残してはおくが、図書館側から積極的に働きかけていくかどうかについては検討中である。

(委員)

・学校側は、SDGsに絡めた教育に変わってきている。例えば、本の返却手続きを体験するとかではなく、本の修繕をしているボランティアとタイアップすると面白くなるのではないかと思う。

	<p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館という職場や司書という職業に興味を持ち、司書になりたいと思っている中学生はいるか。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生はあまり図書館に行かない生徒が比較的多いことや、職場体験を通じて司書のことを知る機会も減ってきていることもあるため、例えば野球選手や警察官のように、職業としての認知度が高くないように思われる。 <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・亀崎・有脇地区からは、図書館本館は非常に遠い。こういう距離的な問題から、中学校で、担任の先生が、図書館での職場体験学習を生徒にあまり勧めていないということはないか。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのような指導は聞いていない。学校では、学校が終わってからどう過ごすかを子ども自身に考えさせる部活動改革が進んでいる。子どもたちが、家族または地域の方々と過ごしたりするときに、図書館の役割は大きくなると考えている。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半田中学校では、職場体験というか、各企業での困りごとを生徒たちと一緒に考えるということをやっている。ただ体験をするだけというようなことは、今はなくなってきていると思う。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きりんの会の、夏休みのボランティア体験に参加する学生は、司書になる方法を積極的に聞いてくる。本好きの子には、司書は大変人気がある職業と思う。
<p>【報告】(3) 第2次半田市子ども読書活動推進計画について</p>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次半田市子ども読書活動推進計画について事務局から報告。 <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・只今の事務局の説明について、ご意見等ないか。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子図書について、誰かが借りると他の人が借りることができなくなってしまうが、大勢の人が借りることができるものもあるという話だった。夏休みの課題図書も、そのようになるかと思う。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア育成講座の報告で、目標値に達成できたという説明であったが、活動が困難な団体も増えてきていると思う。会としても努力はするが、団体の活動が維持できるよう、ご助力をいただけるとありがたい。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上池地区は、図書館本館も分館もかなり遠く、学生が学習室の利用のために出かけることは困難と思う。上池公民館では、ロビーのスペースを学生の学習スベ

	<p>ースとして開放している。公民館という施設でこのようなことはできないところもあると思うが、図書館の立場で、他課等と協力して後押ししてもらえるといいと思う。</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸出文庫を行っている公民館もあるので、公民館でも図書館と同様に本を借りたり勉強したりできることがもっと周知されると、小さい子や小学生が、図書館まで出かけることは無理でも、最寄りの公民館であれば出かけるようになると思う。周知に協力していただけるとありがたい。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上池公民館では、本を借りやすくするために貸出手続きを簡素化している。幅広くいろいろな方に公民館を利用してもらえるように、枠にとらわれない施策をしていただきたいと思います。 <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸出文庫の本が紛失してしまうようなことはあるか。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本の紛失は、少なからずある。 <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家読の啓発の実績報告で、学校公開日における啓発回数がゼロ回ということについて説明をしていただきたい。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校から要望を受け、啓発を実施する事業。学校から要望がない状況。2月には実施予定である。 <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度、この協議会の回数が2回から3回に増えることについて説明していただきたい。また、緊急に召集されるようなことはあるか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度に、第2次子ども読書活動推進計画の期間が終了する。令和6年度を、第3次の計画を作成するための準備年度とし、協議会委員から意見をいただきたく、開催回数を増やした。なお、緊急に召集するようなことはなく、委員には、事前に予定の伺いを立てて開催する。 <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他意見がなければ、本日の議題を終了する。
6. その他	<p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議題以外で、何か意見はあるか。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回尋ねた雨水の漏水調査の進捗状況について説明していただきたい。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まだ原因の特定はできていない。近日業者が来館するので、調査する予定。現

	<p>時点では、漏水の原因について明確には答えられない。</p> <p>(副会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本のリクエストはできるか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本は申込書を提出することでできる。また、C Dはできない。 <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶版になった本を読みたいときにはどうすればよいか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相互貸借の手続きをして他市町村図書館から借り、当館で読むことができる。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人気作家の本を予約しようとする、何十人も先約が入っていることがあるが、やはり長期間待たなければいけないか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ本を複数冊購入することで調整をしているので、早めに順番が回ってくることもある。ただ、作家のブームが去り、誰もその本を借りなくなってしまうことにならないように、購入する数には気を付けている。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸出文庫にも課題図書が入るが、その年に人気があるだけで、翌年からは借りていかれないことがある。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館だが、夏休みに読書感想文の宿題が必須でなくなった学校が増えてきているからなのか、子どもは課題図書を借りなくなっている。読書感想文が必須の宿題でなくなった理由が知りたい。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経緯の詳細まではわかりかねるが、宿題には、学校で学習したことを自分で勉強したり、自分に不足しているところを補う、といった意味があり、読書感想文はそれとは異なる。夏休みの宿題が、子どもが自分のやりたいことを選択するという形になってきたこと、先生側も指導したことを宿題に出さなければいけないということがある。また、読書感想文は、子どもが家でやろうという性質のものとは異なるということもありコロナ禍を機に見直したが、質自体は下がっておらず、読書嫌いな子が、嫌々感想文を書かされて提出するようなことがなくなったと思う。ただ、そういう子が、読書感想文の提出のために本を読み読書を好きになるという機会が減ってしまったことは、残念に思う。 <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回半田市図書館協議会を終了する。
	(終了)